

附属資料館の概要

IV

附属資料館は、社会教育の場としての博物館業務を通じて郵政に関する文化の啓発、普及を図るとともに、郵政事業について広く一般の理解を深め、事業の発展に寄与することを目的として設置されている。

このような趣旨に即し、附属資料館においては、郵政事業の持つ長い歴史とその間に培われた郵政文化及びその基盤の上に発展する郵政事業の現況や将来展望について、実物資料の展示等様々な手法で紹介している。

1 展示

小学生の高学年を対象として、明日の日本そして世界を担う子供たちに興味を持ってもらいやすいように、社会背景などを踏まえた分かりやすい内容から、徐々に深い詳細情報までたどり着けるような階層構造の展示で情報を提供。

2 マルチメディア化

(1) 資料のデジタル化

所蔵品の劣化の防止、資料等の管理事務の効率化を図るために切手資料、図書資料、一般資料、写真資料データのデジタル化及びデータベース化を行った。これにより世界各国の切手情報を来館者に館内のパソコンから提供が行えるなど、お客様からの様々な資料提供依頼に迅速かつ正確に対応できるようにしている。

(2) サイバー化

博物館専用のホームページを開設し、リファレンスコーナーにおいては、来館者がインターネットの体験も行えるようにしている。また、ドイツの「2000年ハノーバー国際博覧会」に展示された、切手画像検索システム（ハノーバーシステム）を設置している。

3 最新システムの導入による電子博物館化

郵便配達を体験できる郵便配達シミュレーター、ゲーム世代に対応した貯金・保険のロール

プレイングゲーム、近未来のマルチメディア環境を疑似体験できるマルチメディアシミュレーター3D立体映像で見る「郵便の届くまで」等最新の情報技術を活用したシステムを導入し電子博物館化を図っている。

4 活動状況（特別展・企画展等の開催）

平成14年には、特別展を19回（郵政13回、NHK2回、三機関共催4回）、企画展を6回開催し、郵政文化等普及のための多彩な展示活動を行った。（詳細は別表1、2のとおり。）主な特別展の概要は次のとおりである。

(1) おもしろ郵便のつくりかた展

ア 期間

平成14年1月8日（火）～2月3日（日）

イ 主な内容

郵趣家・酒井正雄氏のコレクションから「こんなものに切手を貼って送れるの?」といったおもしろい形や素材の郵便物や消印コレクションを展示。また当館所蔵資料より、話題性の高いテーマの国内外の切手や各地の郵便局から届いた風景印を紹介し、併せてアドカード、絵手紙も展示した。

（期間中の入館者数 16,945人）

(2) 第52回全日本切手展2002

ア 期間

平成14年4月20日（土）～4月25日（木）

イ 主な内容

全国から応募した切手コレクションの中から優秀な作品約300点を展示。切手を収集する楽しさを紹介し、期間中は平成13年発行切手の人気投票コーナーやクイズ大会、切手教室の開催等を行った。

（期間中の入館者数 6,334人）

(3) 情報通信イベント

あそぼう！学ぼう！おもしろ王国

ア 期間
平成14年5月3日(金)～6月9日(日)

イ 主な内容
情報通信や放送の普及・振興を図るため、21世紀のマルチメディア時代を担う子供たちに気軽に楽しくマルチメディアの世界を体験し、あそびながら、学べるイベントを実施した。
(期間中の中入館者数 25,090人)

(4)「通信博物館の100年」展

ア 期間
平成14年6月15日～7月28日(日)

イ 主な内容
明治35(1902)年6月20日、万国郵便連合加盟25周年の記念事業として郵便博物館(通信博物館)は創設されてから今年で100年を迎えた。そこで、これを記念したイベントや博物館の100年を振り返る貴重な写真や資料を紹介した。

[記念イベント]

- ・博物館の「お宝」
～日本の電気通信の夜明け～
重要文化財指定「エンボッシング・モールス電信機」などの通信実験を行った。
- ・NHK「ひるの散歩道」公開生放送など
(期間中の中入館者数 21,387人)

(5)親子で作ろう！ 電波工作・電波利用環境展

ア 期間
平成14年8月9日(金)～8月11日(日)

イ 主な内容
親子で「AMラジオ」の組み立て、電波に関するパネルの展示、電波利用環境保護のビデオ上映など、不思議でおもしろい電波の世界を体験できるイベントを実施した。
(期間中の中入館者数 2,732人)

(6)夏休み！ファミリーランド 世界名作人形劇フェスティバル

ア 期間
平成14年8月17日(土)～9月1日(日)

イ 主な内容
「世界名作ぬいぐるみ人形劇」、「楽しく作ろう！夏休み工作教室」、「影絵劇団かしの樹ファンタジーワールド」等おもしろさ、不思議さに出会える遊びのプログラムを満載し、夏休みの子供たちが友達や家族と一緒に楽しめる盛りだくさんのイベントを実施した。
(期間中の中入館者数 24,078人)

5 資料収集、教育普及活動

(1)寄贈・購入等による資料収集

平成14年においては、前島密自筆書簡、明治17年3月発行郵便必携、明治36年日本事物起源などの購入を行った。また、大阪鉄道郵便局の歩み、手彫り時代の郵便史、飛脚状、逓信院保険料領収書、1号丸型ポスト、簡易保険周知用扇子、ダニエル電池復元品、マルコーニ火花送信機等様々な貴重資料が多数の方から寄贈された。

(2)資料提供

平成14年における、各種資料の閲覧、貸出、撮影及びデータ・情報の提供は約2,800件に及んでいる。

(3)博物館実習への協力

社会教育の一環として、大学等在学中の学芸員課程受講者を対象に、5月より毎月10日間3名ずつ計24名の博物館学芸員実習生の受け入れを行った。

(4)年賀状用版画の作り方教室の開催

年賀状の売り出し時期に合わせて、11/9～12/8までの土・日曜日に計10回にわたって木版による手作り年賀状の作り方教室を開催した。

6 「前島密と近代郵便のあけぼの」等 展示場コーナーの開設

2階常設展示場に郵政展示コーナー「前島密と近代郵便のあけぼの」が平成14年3月9日にオープンした。郵便の父前島密の業績を紹介するとともに、創業時の郵便の状況や日本の近代化に郵政事業が果たした役割を紹介している。また、掛箱や赤いポストの移り変わりを紹介した「ポストの変遷コーナー」や「電気通信のあけぼのコーナー」として重要文化財「平賀源内のエレキテル」、「ペリー提督献上のエンボッシング・モールス電信機」の複製を新たに展示している。

7 「ブレゲ指字電信機」が重要文化財指定

明治2(1869)年に東京～横浜間で日本最初の公衆電信が開通した。この時に使用された電信機が、フランスのブレゲ社が製作したもので、当館で携帯型指字電信機と送信機及び受信機2点を所蔵しているが、これが平成14年6月26日に国の重要文化財に指定された。

8 重要文化財等による通信実験

若井登客員研究官、通信総合研究所との共同研究により以下の重要文化財等が作動するようになったことから、「ペリー提督献上のエンボッシング・モールス電信機」、「榎本武揚のディニエ印字電信機」、「ブレゲ指字電信機」それぞれの電信機同士での対向通信実験及び「エレキテル」の機能模型を使った静電気実験を通信博物館の100年展で行った。

また、エンボッシング・モールス電信機の通信実験においては、ダニエル電池と電信柱を製作し、当時と同じ状況での通信実験を行った。

9 佐久間象山製作 「電気治療器」の保存・修理

万延元(1860)年頃、佐久間象山が50歳の時に夫人の虎列刺病を治すために製作したと言われ、日本で初めて動電池(ボルタの電池)を使用した「電気治療器」を当館で所蔵しているが、素地の割れ、収縮、剥離等全体に劣化が著しいため、現在修理中である。

※ボルタの電池～銅の筒の中に亜鉛板を挟み、その中に稀硫酸溶液を入れたもの。

別表1 平成14年特別展開催状況

機関名	特別展名	会期	日数
資料館	「おもしろ郵便のつくりかた」展	1月 8日 (火) ～ 2月 3日 (日)	24
NHK	NHK大河ドラマ「利家とまつ～加賀百万石物語～」展	2月 9日 (土) ～ 2月24日 (日)	14
郵政事業庁	第34回手紙作文コンクール(絵手紙部門)及び第51回全日本年賀状版画・絵手紙コンクール中央展	3月 1日 (金) ～ 3月10日 (日)	9
沖縄総合通信 事務所	沖縄の物産展	3月13日 (水) ～ 3月15日 (金)	3
三機関	春休み!キッズカーニバル 「人形劇ファミリーフェスティバル」	3月21日 (木) ～ 4月 4日 (水)	13
郵政事業庁	第25回「手作りの絵はがき」コンクール入賞作品展	4月 7日 (日) ～ 4月14日 (日)	7
郵政事業庁	第52回全日本切手展2002	4月20日 (土) ～ 4月25日 (木)	5
郵政事業庁	切手クラフト(切手はり絵)作品展	4月27日 (土) ～ 4月28日 (日)	2
三機関	情報通信・放送イベント あそぼう!学ぼう!おもしろ王国	5月 3日 (金) ～ 6月 9日 (日)	33
資料館	「通信博物館の100年」展	6月15日 (土) ～ 7月28日 (日)	37
郵政事業庁	第30回夏休み切手まつり(サマーペックス'02)	8月 3日 (土) ～ 8月 4日 (日)	2
総務省	親子で作ろう!電波工作・電波利用環境展	8月 9日 (金) ～ 8月11日 (日)	3
三機関	夏休み!ファミリーランド 世界名作人形劇フェスティバル	8月17日 (土) ～ 9月 1日 (日)	14
三機関	2002NHK学園オープンスクール作品展	9月 6日 (金) ～10月14日 (月)	34
郵政事業庁	第28回「私のアイデア貯金箱」コンクール作品中央展示会	11月 1日 (金) ～ 1月 9日 (土)	8
資料館	年賀状版画の作り方教室	11/9、10、16、17、23、24、30 12/1、7、8	10
資料館	ポストカードギャラリー ～クリスマス&ニューイヤーはポストカードで～	11月15日 (金) ～12月 1日 (日)	15

機関名	特別展名	会期	日数
資料館	スタンプ&エンボスパウダー加工でつくる簡単でおしゃれな年賀状・クリスマスカード教室	12月 6日(金)～12月 23日(月)	16
NHK	セサミストリートで遊ぼう!	12月 7日(土)～12月 23日(月)	15

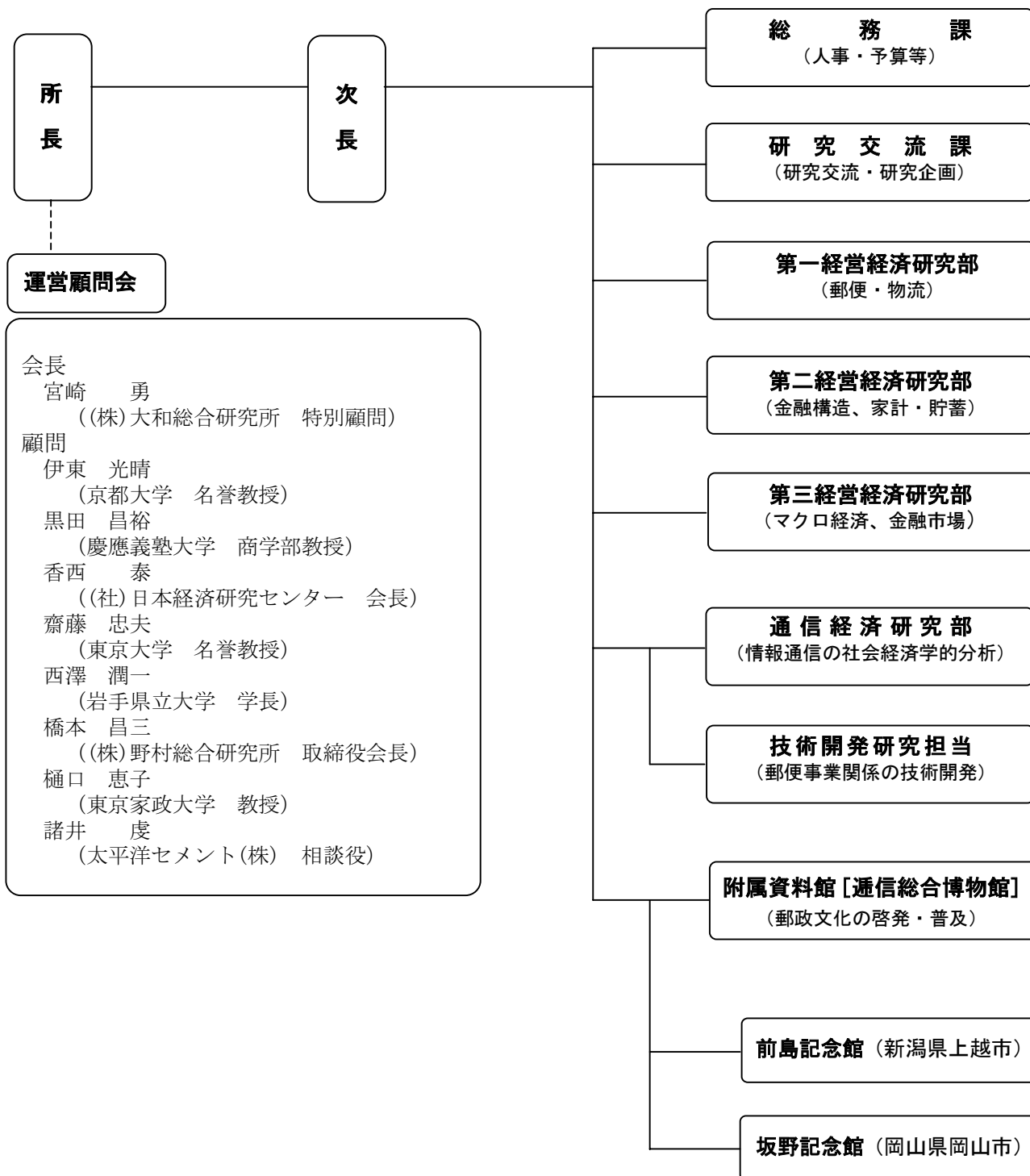
(備考) 三機関とは、総務省郵政研究所附属資料館、NTT東日本及びNHKを指す。

別表2 平成14年附属資料館企画展開催状況

企画展名	会期	日数
おもしろ郵便～アドカード編～	1月 8日 (火) ～ 2月 3日 (日)	24
第34回「受信環境クリーン図案コンクール」入賞作品展	4月 7日 (土) ～ 5月12日 (日)	14
新収蔵寄贈資料展	6月 14日 (金) ～ 7月21日 (日)	33
第28回「私のアイデア貯金箱」コンクール作品展 東京地方展示会	10月 10日 (木) ～ 11月 4日 (月)	23
ていぱーく資料に見るお正月	11月 15日 (金) ～ 12月 1日 (日)	15
心尽くしの年賀状展	12月 6日 (金) ～ 1月 5日 (日)	22

郵政研究所の組織

V



【連絡先】

総務課	03-3224-7308	通信経済研究部	03-3224-7389
研究交流課	03-3224-7310	技術開発研究担当	03-3224-7373
第一経営経済研究部	03-3224-7324	附属資料館（逓信総合博物館）	03-3244-6821
第二経営経済研究部	03-3224-7333	郵政研究所URL	http://www.iptp.go.jp/
第三経営経済研究部	03-3224-7347	E-mail	www-admin@iptp.go.jp

郵政研究所年報 平成14年

平成15年2月28日発行
発行 総務省郵政研究所
〒106-8798 東京都港区麻布台1-6-19
電話 03-3224-7310
FAX 03-3224-7382
